

様式第1号（第8条、第9条関係）

事業者行動計画書（変更計画書）

令和2年 8月 28日

（宛先）

滋賀県知事

提出者

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）

滋賀県大津市晴嵐一丁目16番1号

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）

日本精工株式会社 大津工場

工場長 山下 勝義

077-537-1600(代)

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例（第20条第3項・~~第20条第4項~~
~~第22条第1項~~・~~第22条第2項~~において準用する
同条例第20条第4項）の規定に基づき、事業者行動計画を策定（変更）したので、提出します。

事業者の氏名 （法人にあっては、名称 および代表者の氏名）	日本精工株式会社 取締役 代表執行役社長・CEO 内山 俊弘
事業者の住所 （法人にあっては、主たる 事務所の所在地）	東京都品川区大崎1-6-3

1 事業所の概要

事業所の名称	日本精工株式会社 大津工場					
事業所の所在地	滋賀県大津市晴嵐一丁目16番1号					
主たる事業	細分類番号	2	5	9	4	玉軸受、ころ軸受製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を 県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室 効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を 県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

標準様式第1号

(第1面)

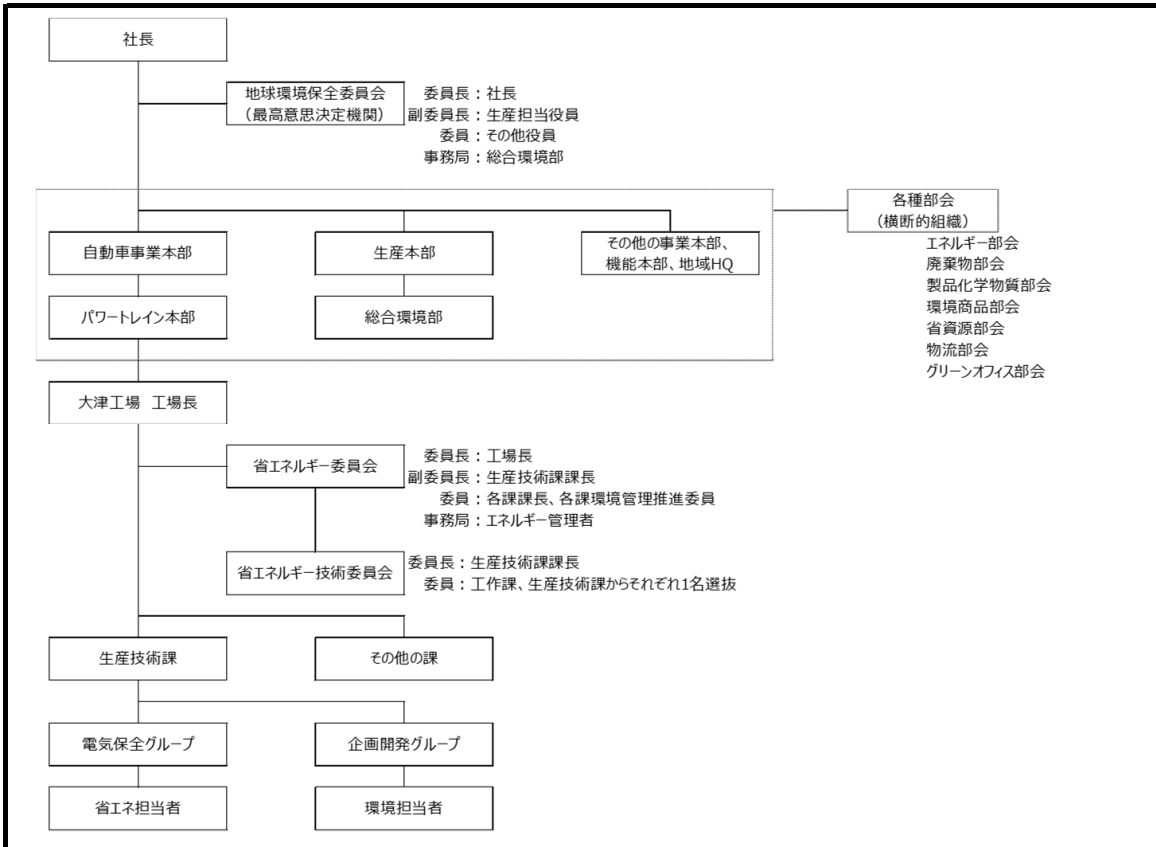
1 計画期間

計 画 期 間	令和2 年度 ~	令和5 年度
---------	----------	--------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

当工場の方針は、
 「エネルギー使用効率向上により、二酸化炭素排出量を削減して地球温暖化防止を計る。」
 というものであり、
 1. エアーの効果的活用による消費量の削減
 2. エネルギー使用効率向上のため高効率運転の追及
 3. 空調設備の運転改善
 4. 継続的改善で生産変動に強い省エネの推進
 5. 老朽化設備の更新
 が取組の具体的な内容となります。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

これまで取り組んだ項目としては、

- ・汎用モーターを高効率モーターに交換
 - ・ポンプ、送風機動力のインバータ駆動による使用動力低減
 - ・力率向上による線路損失と変圧器損失の低減
 - ・高効率変圧器への更新
 - ・生産設備の待機時電力削減
 - ・高効率照明の採用(インバータ、CCFL、LEDなど)
 - ・照明の自動点滅(消し忘れ防止)
 - ・空気圧縮機の効率運転(自動台数制御)
 - ・省エネ啓発活動
 - ・不要照明の取り外し
 - ・圧縮空気の漏れ低減活動
 - ・熱処理工程の処理能力改善
 - ・吸収式冷温水機の燃料転換
 - ・空調熱源更新
 - ・電動チラーの採用
 - ・コンプレッサー更新
- 等が挙げられます。

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入対策	照明器具更新(LED化)	令和2年～5年 (以前より継続)
2	設備導入対策	はん用モーターを高効率モーターに交換	令和2年～5年 (以前より継続)
3	設備導入対策	はん用ポンプを高効率ポンプに交換	令和2年～5年 (以前より継続)
4	メンテナンス効率向上	熱処理炉オーバーホール	令和2年～5年
5			
6			
7			
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1			
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

<p>目標および考え方は以下のとおりです。</p> <p>目標： CO₂排出量を、2017年度から2025年度までに16%減とし、 CO₂原単位を、2017年度から2025年度までに13%減とします</p> <p>考え方： CO₂排出原単位 = $\frac{\text{CO}_2\text{排出量(t-CO}_2\text{)}}{\text{付加価値生産金額(百万円)}}$</p>

(第4面)

6 事業活動を通じた他者の温室効果ガスの排出削減により低炭素社会づくりに貢献する取組

(1) 取組の内容等

当工場は軸受を製造している工場です。軸受は自動車や産業機械など、様々なものに多く使われています。また軸受とは機械の回転部分に多く使用されるものですので、軸受による摩擦損失が軽減されれば機械の省エネ化につながり、CO2の削減となります。当工場では従来品よりも摩擦損失が少なくなった環境性能の高い製品も多く製造しており、省エネに貢献しています。

(2) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

「環境貢献型製品によるCO2排出量のオフセット」を達成するために、NSKグループ全体の目標(2019～2021)として以下の通り設定しています。

- ・「ベース性能向上」と「エネルギー多様化アプリケーションへの貢献」により、NSK製品使用段階のCO2排出削減貢献量を200万t-CO2以上とする
- ・NSK環境効率指標(Neco)1.2以上の環境貢献型製品を創出する(継続)

当工場は、設計部署が開発した上記の環境貢献型製品の生産を通じて、CO2の削減に貢献していきます。

※<https://www.nsk.com/jp/csr/csrReport/index.html>からNSKサステナビリティレポートをダウンロードいただけます。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	廃棄物排出の削減	梱包材の簡素化と持帰り、廃棄物削減	令和2年～5年 (以前より継続)
2	環境教育の実施	環境教育を従業員に実施する	令和2年～5年 (以前より継続)
3			
4			
5			
6			
7			
8			